

させぼ 市議会だより

令和3年6月定例会
令和3年8月1日発行

No.421



総務委員会

6月定例会のあらまし

～令和3年度一般会計補正予算（第4号）等を可決～

6月定例会は、6月14日から6月25日までの12日間の日程で開催しました。

6月14日、15日、16日には各常任委員会をそれぞれ開催し、付託された議案等について審査を行いました。

6月18日には、令和3年度補正予算5件、条例11件、その他の議案5件、意見書案1件を可決、報告8件を承認、請願1件を採択、人事案件2件に同意しました。

また、6月23日、24日、25日は一般質問（3日間・18名）を行いました。

目次

6月定例会のあらまし	...	P 1
議決結果、主な議案	...	P 2
委員会の審査から	...	P 4
一般質問	...	P 6
政務活動費収支報告	...	P11
議会の活動 ほか	...	P12

議決結果

6月定例会の議決結果は次のとおりです。

全員が賛成した議案

議案名	
令和3年度 補正予算	一般会計（第4号）
	一般会計（第5号）
	国民健康保険事業特別会計（第1号）
	介護保険事業特別会計（第1号）
	後期高齢者医療事業特別会計（第1号）
条 例	情報通信技術を活用した行政手続の推進に関する条例制定
	特定個人情報の保護等に関する条例の一部改正
	市税条例の一部改正
	婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	手数料条例の一部改正
	都市再生協議会条例制定
	指定障害福祉サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例制定
	保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
一 般	工事請負契約締結（大黒住宅3番館建替（建築）工事）

議案名	
一 般	工事請負契約締結（大黒住宅3番館建替（機械設備）工事）
	市有財産取得（280MHz戸別受信機）
	市道の認定（認定3路線）
報 告	令和2年度一般会計補正予算（第20号）市長専決処分報告
	令和3年度一般会計補正予算（第2号）市長専決処分報告
	令和3年度一般会計補正予算（第3号）市長専決処分報告
	過疎地域等における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例に係る市長専決処分報告
	市税条例の一部を改正する条例に係る市長専決処分報告
	市営住宅条例の一部を改正する条例に係る市長専決処分報告
	指定障害福祉サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例に係る市長専決処分報告
	工事請負契約（変更契約）締結に係る市長専決処分報告（木場漁港木場北防波堤災害復旧工事）
請 願	国に対して「特別協定による労務費負担の継続に関する意見書」の提出を求める請願
意 見 書	特別協定による労務費の負担の継続に関する意見書
人 事	教育長任命
	固定資産評価員選任

賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対

議案名		自民		市民	公明	共産	歩み	市政	議決結果
		大村 哲史 田山 藤丸 鶴 大地 角田隆一郎 橋之口裕太 久保 葉人 萩原 活 ※1 北野正徳 永安 健次	湊 浩二郎 山口 裕二 崎山 信幸 林 健二 草津俊比古 長野 孝道 松尾 裕幸 市岡 博道 ※2 田中 稔	柴山 賢一 松尾 俊哉 久野 秀敏 永田 秀人 小野原 茂 古家 勉 山下 隆良	森田 浩 宮島 武雄 佐藤 文子 大塚 克史	小田 徳顕	宮田 京子	山下 廣大	
一般	公有水面埋立てに関する意見 (崎辺東地区)	○	○	○	×	○	○	○	可決

【会派名】自民＝自民党市民会議、市民＝市民クラブ、公明＝公明党、共産＝日本共産党、歩み＝歩みの会、市政＝市政会

※1：今定例会中、北野正徳議員は欠席したため、全ての採決に加わりません。

※2：田中稔議長は採決に加わりません。

【参 考】今回議決した意見書及び請願以外の議案は、市長により提案がなされたものです。

主な議案

6月定例会で議決された主な議案の概要は次のとおりです。

令和3年度一般会計補正予算（第4号）

補正額 10億756万円の増額

（補正後の一般会計予算額1,181億4,804万円）

《補正の主な内容》

【総務費】都市インフラ検討事業費（I R 関連）など8,304万円の増額

【民生費】子育て世帯生活支援特別給付金など2億5,205万円の増額

【衛生費】新型コロナウイルス感染症対策事業費585万円の増額

【商工費】佐世保市内でゆったり宿泊キャンペーン事業費など4億1,214万円の増額

【土木費】排水ポンプ施設維持管理事業費2億880万円の増額

【港湾費】鯨瀬ターミナル周辺機能再編事業費3,820万円の増額

【公債費】災害復旧事業債に係る元金の繰上償還など747万円の増額

令和3年度一般会計補正予算（第5号）

補正額 6,587万円の増額

（補正後の一般会計予算額1,182億1,391万円）

《補正の主な内容》

【民生費】新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費6,587万円の増額

情報通信技術を活用した行政手続の推進に関する条例制定

行政手続等に係る利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るため、情報通信技術を利用する方法により手続等を行うに際し必要な事項を定めるものです。

市有財産取得

宮・針尾・江上・早岐・崎辺・愛宕・中里皆瀬・相浦及び黒島地区に配備する280メガヘルツデジタル同報系無線システムの戸別受信機2万6,290台を5億2,470万円で購入するものです。

委員会の審査から

6月定例会中に常任委員会（総務委員会、都市整備委員会、文教厚生委員会、企業経済委員会）が審査した議案の一部について、主な審査の概要をお知らせします。

総務

民間主導の文化プロジェクトへの寄附等を財源とした補助金を計上

所属委員：◎橋之口裕太、○田山藤丸、松尾俊哉、久保葉人、萩原活、佐藤文子、永田秀人、松尾裕幸

議案名：令和3年度佐世保市一般会計補正予算（第4号）

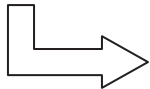
【内容】民間主導の文化プロジェクトの資金調達を支援するため、クラウドファンディングの手法や、ふるさと納税の制度を活用した寄附等を財源とした補助金1,000万円を計上するもの。

委員会（質疑）

- ・新型コロナウイルス感染症など、不可抗力により文化イベントが中止された場合を想定して、補助金の返還についての取扱いを明確にしておく必要はないですか。

市（答弁）

- ・補助金の返還の取扱いについて誤解が生じることがないように、補助金の交付要綱の制定に際しては、市が文化イベントの実施の見込みがないと判断した場合、事業に係る補助金の交付決定を取り消せることを明確に表現します。



委員会では全会一致で可決

附帯決議

- ①クラウドファンディング型プロジェクト応援事業（文化）については、事業を執行する前に、委員会での指摘事項を踏まえ、公募要項・審査基準等を整備し、委員会に報告を行うとともに、事業の進捗状況についても適宜報告を行うこと。
- ②ふるさと納税を活用した特定目的の寄附に関し、全庁的な活用の在り方について要綱等を整備すること。

※クラウドファンディング…群衆（Crowd）と資金調達（Funding）を組み合わせた造語で、インターネットを介して不特定多数の人から資金を調達する仕組みのことです。

都市整備

大黒住宅3番館建替工事の契約を締結

所属委員：◎大塚克史、○鶴大地、宮田京子、山口裕二、小野原茂、草津俊比古、長野孝道、山下隆良

議案名：工事請負契約締結の件

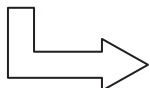
【内容】大黒住宅3番館の建替（建築）工事に関し、令和5年度の管理開始に向け、上滝・門田建設・輝工務店共同企業体と請負契約を締結するもの。

委員会（質疑）

- ・大黒住宅の駐車場の整備計画は、どのようになっていますか。

市（答弁）

- ・新たに整備する駐車場の台数は110台分で、大黒住宅1番館と2番館を合わせると合計で217台分になります。1番館から3番館までの管理戸数は合計で223戸であるため、1戸当たり1台分弱の割合になりますが、現状として、交通環境がよいことなどから、駐車場の利用率は5割に満たない状況であるため、現在の整備計画でも十分対応できると考えています。



委員会では全会一致で可決

市側に要望した事項

- ・大黒住宅の駐車場については、大黒住宅1・2・3番館を合わせた柔軟な対応により、入居者の利便性の向上を図ること。

文教
厚生

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を計上

所属委員：◎林健二、○宮島武雄、小田徳顕、山下廣大、崎山信幸、柴山賢一、大村哲史、市岡博道

議案名：令和3年度佐世保市一般会計補正予算（第4号）

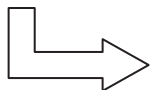
〔内容〕新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、ひとり親世帯以外の世帯へ特別給付金の支給を行うための経費として、2億5,176万円を計上するもの。

委員会（質疑）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により苦しんでいる方々に対しては、切れ目のない支援を行うことが不可欠です。予算が認められ、給付金の支給手続が滞りなく進んだ場合、最短では、いつ支給が可能ですか。

市（答弁）

- ・支給対象者の抽出や支給申込書の送付等を行うため、現時点でのスケジュールにおいては、7月下旬頃を予定しています。家計が急変するなど、申請を要する方も含め、コロナ禍で困窮をされている方たちに1日でも早く給付金をお届けするのが市の任務ですので、可能な限り速やかに事務を進めたいと考えています。



委員会では全会一致で可決

企業
経済

飲食店来店応援事業費を計上

所属委員：◎久野秀敏、○角田隆一郎、永安健次、湊浩二郎、森田浩、古家勉、北野正徳（欠席）

議案名：令和3年度佐世保市一般会計補正予算（第4号）

〔内容〕感染拡大防止と経済回復の両立を図る観点から、長崎県が創設する飲食店の第三者認証制度の認証を受けた店舗に対して、集客に活用するためのクーポン券を発行し、経営を支援するための経費として、1億64万円を計上するもの。

委員会（質疑）

- ・クーポン事業を実施するに当たって、県の全ての認証基準をクリアしておかなければならないのは、希望する店舗にとって、ハードルが高いのではないですか。

市（答弁）

- ・認証基準については、現在、一般的に店舗が取り組まれている感染症対策が認証項目に設定されています。店舗状況によっては、複数の項目のうちのいずれかを満たせばよい選択制の項目となっており、認証取得のための設備導入費の補助制度もあるため、各店舗の状況に応じて、柔軟に対応できると考えています。



委員会では全会一致で可決

市側に要望した事項

- ・本事業は、経営支援施策であることから、各店舗に寄り添った運用に努め、認証審査などにおいても、迅速に進捗が図られるよう対応してもらいたい。

一般質問

一般質問は、市が当面する諸問題について、質問や提言を行うものです。令和3年6月定例会は、18人の議員が行いました。質問項目の一部を掲載していますが、一般質問の全体の模様は市議会ホームページのインターネット中継（録画中継）でご覧になれます。

[] 内には、質問と答弁時間の合計を記載しています。



小中学校の空調整備について

公明党 みやじま たけお
宮島 武雄 [40分]

問 本市小中学校において、普通教室には空調機器が完備されましたが、特別教室である理科室や音楽室への整備は進んでいません。専門教科や部活動を通して児童生徒の可能性を伸ばしていく場として、また熱中症防止対策のためにも、特別教室への空調整備が必要だと考えます。また、災害時の避難所や、現在はワクチン集団接種会場としても使われている体育館についても、他都市での導入事例が見られ、不可能ではないと考えますが、今後の空調整備について伺います。

答 改めて試算したところ、市内小中学校等70校全ての理科室及び音楽室に空調機器を設置するためには、事業費約11億円、期間は4年を要します。費用が非常

に多額であり、学校施設全体の老朽化に伴う対策等が必要な時期を迎えていることから、それらとの兼ね合いも考慮しつつ、特別教室への空調整備については、今後も検討を要するものと考えています。

体育館については、施設の特性上、冷えにくいなどの問題があり、設置のために大規模な改修工事が必要になることから、空調整備は難しいと考えています。避難所や接種会場としての活用に際しては、スポットクーラー等により対応していますが、空調整備の必要性は増してきていますので、先進事例、新たな機器等の情報収集や、整備手法の研究を続けていきます。

その他の質問 ▼今後の保健福祉施策について

総合医療センターの労働環境について

市民クラブ ながた ひでと
永田 秀人 [40分]

問 医療現場は従来から過重労働が問題視されてきました。佐世保市総合医療センターでも医師などの時間外勤務が多く、現在は新型コロナウイルスの対応に当たる部署の時間外勤務が増えているようです。従来の考え方で体制の効率化を推し進めていては、危機管理上の問題があると考えます。コロナ禍のような、緊急時に対応できる体制をつくるため、総合医療センターの次期中期計画では、「時間外労働をゼロに近づけ、有休消化率を100%に近づける」ことを目標にするべきではありませんか。

答 次期中期計画で、「時間外労働をゼロに近づける」ことを目標にする提案であります。医療の現場にお

いては救急搬送や患者の急変など、常に緊急対応が求められる環境下にあり、そのような特性から時間外勤務をゼロとすることは極めて厳しいものと思われます。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、国における地域医療政策の全般に不透明な要素が多い状況となっています。

このようなことから、中期計画における具体的な評価指標の設定に際しては、全体のバランスを見ながら、良好な労働環境の確保に意を用いて、総合医療センターと協議、検討していきます。

その他の質問 ▼路線バスの現状と地域公共交通再編実施計画について

持続可能なスポーツ環境の整備について

自民党市民会議 たやま ふじまる
田山 藤丸 [40分]

問 本市の総合グラウンドをはじめとするスポーツ施設は、老朽化が著しく、市民から施設の整備やリニューアルを求める声が高まっています。スポーツ施設の再整備に当たっては、官民が対等な立場でパートナーシップを組み、PFI方式やDBO方式などの官民連携事業を行うことで、設計・建設・運営・維持管理を一体的に実施できれば、低廉かつ良質なスポーツ環境の整備を図れると考えられるため、官民連携の取組の検討を行っていくべきではないでしょうか。

答 総合グラウンドについては、長年の使用により設備の老朽化や経年劣化が徐々に現れてきています。総合グラウンドの各施設の建て替えも含めたリニューア

ルについては、本市スポーツ政策を推進していく上で、大変重要な課題であると認識していますが、本市が所管するスポーツ施設は、総合グラウンド以外にも市内に数多くあり、これらの施設についても、同様の課題があると認識しています。

そのため、今年度は施設整備における民間資金の活用、いわゆるPFI等の新しい手法の導入について、「佐世保PPPプラットフォーム」等を活用し、市内外の事業者からの意見や国内の先行事例、PFIのメリットやデメリットなどの情報収集に努めるとともに、その可能性を模索していきたいと考えています。

その他の質問 ▼脱炭素化と地方創生の取組について

新型コロナウイルス感染者の人権について

市政会

やました こうだい
山下 廣大

[20分]

問 私のところに、新型コロナウイルスに感染した方から1通の手紙が届きました。そこには、「コロナに感染したことに対する偏見や差別を受け、いまだにとても苦しんでいること」や、「コロナに対して正しい理解が必要で、それを広めてほしい」といったことがつづってありました。

そこで、私も同じコロナに感染した者として、誹謗中傷やプライバシーの保護に関し、市がどのように対応しているのか伺います。

答 新型コロナウイルス感染症に関しては、感染者のみならず、そのご家族や周辺の方々などへの誹謗中傷や偏見、差別等の事案が、残念ながら発生しています。

そのため、県は、コロナ関連の人権相談窓口を設置し、誹謗中傷等を受けられた方々への相談を受け付け、解決に向けたアドバイスや関係機関との調整、弁護士による支援を実施されています。本市においても、そもそもの誹謗中傷等を防ぐため、人権男女共同参画課でチラシを作成の上、本年4月に町内班回覧により啓発を行ったところです。心ない誹謗中傷は市としても遺憾で心から残念に思っており、その啓発を続けるとともに、個人のプライバシーには十分配慮した上で、誠意をもって対応していきたいと考えています。

その他の質問 ▼新型コロナウイルス感染者の情報管理について

佐世保市における日本版CCRCの取組について

自民党市民会議

みなと こうじろう
湊 浩二郎

[40分]

問 CCRCとは、高齢者が健康なうちに入居し、終身で過ごすことが可能な生活共同体を指します。日本版CCRCでは、大都市圏への人口集中が進む中、アクティブシニアの地方移住によってその流れを食い止め、地方創生に貢献することが期待されます。新型コロナウイルス感染拡大により、テレワーク等が普及し、日本においても働き方が大きく変わろうとしています。そこで、高齢者移住の進め方として、日本版CCRCにより、市営住宅を活用し、アクティブシニア向けの居住を確保した上で移住者を円滑に受け入れることは検討できないのでしょうか。

答 平成28年度の関連法改正に伴い「日本版CCRC」

が始まり、本市としても注目していましたが、この制度においては、民間事業者が事業主体となり、移住支援や住宅の整備など、リスクを伴う投資を要することもあり、民間事業者から具体的な関心が示されませんでした。市営住宅を転用した事例でも、入居申込みがなく、厳しい状況にあるようです。現在、あらゆる世代への移住支援に取り組んでおり、ポストコロナの働き方改革を含め、アクティブシニア層についても取組を継続しつつ、CCRCの需要が高まるなど状況の変化があれば、必要な支援を行っていきます。

その他の質問 ▼三ヶ町・四ヶ町の全天候型アーケード通りを利用した「させば夜市」の可能性について

ふれあい収集について

市民クラブ

こが つとむ
古家 勉

[40分]

問 ごみ出しが困難な方を訪問して、ごみ収集を行う、ふれあい収集は、平成19年度から14年間モデル事業として実施していますが、いまだに全市的な本格導入には至っていません。一人暮らしの高齢者の増加に伴い、事業の必要性が非常に高まっているため、収集に特別の労力を必要とし、採算性を確保しづらいことを踏まえ、環境部の現業職員が収集を行う形での早急な本格導入を強く求めます。また、収集料金については、同様の事業を行っている中核市21市において、斜面地が多い長崎市も含め、全ての市が無料であるため、同様に本市も無料とすべきではないですか。

答 ふれあい収集の実施に当たっては、希望される方

の生活状況の現地調査や関係者からの話を踏まえて必要性を判断していくため、専門性が必要であり、本格導入によって収集の対象者が増えてくれば、これらの業務を継続して行うことが可能な担い手の確保が必要になってきます。担い手として提案のあった現業職員ですが、本市の定員管理において、「退職不補充」の方針を取っているため、持続可能な担い手として位置付けることは難しいと考えています。また、収集料金については、中核市21市では有料の自治体はありませんが、ごみ出し支援は特定の市民へのサービスであるため、有料とするか否かについての整理が必要です。

その他の質問 ▼獣医師確保について

ポストコロナ時代を見据えた取組について

公明党

おおつか かつし
大塚 克史

[40分]

問 デジタル化が進む中で、今後の国民生活の利便性向上が期待されますが、デジタル機器に不慣れた高齢者等のデジタル弱者であっても、その恩恵を受けられるように、デジタル弱者への支援が必要と考えます。そこで、本市においては、デジタル弱者に対し、具体的にどのような支援策を考えていますか。

また、同時にインターネット環境の整備も必要と考えますが、本市公共施設のWi-Fi環境の現状と今後の展開について伺います。

答 本市では、各コミュニティセンターにおいて「パソコン・スマートフォン活用」というテーマで、主催講座等を開催しています。さらに、今後は、民間事業

者や県と連携し、例えば、9月のオンライン申請システムのサービス開始時期に合わせて、テスト環境下で、実際にスマートフォンを操作しながら、便利さを体感してもらうなど、本市のデジタルを活用した行政サービスを利用してもらうための工夫や取組を行っていききたいと考えています。

また、本市では、佐世保港国際ターミナルビルや針尾無線塔などで公衆Wi-Fiを利用いただいております。今後はコミュニティセンター等で、通信料等の受益者負担の考え方も踏まえ、Wi-Fi整備に係る市の統一的な考えを早急に整理したいと考えています。

その他の質問 ▼離島振興について

今後の地場産業の活性化に向けた取組について

市民クラブ おのほら しげる 小野原 茂 [30分]

問 本市には、造船関連産業などで長年にわたり培ってきた技術があり、ものづくりの火を消してはなりません。今後、基地や海洋といった本市の地域特性を生かした産業分野への取組は、重要性を増していくものと思われます。防衛産業を含め、海事産業を通じたものづくり支援や、技術力の高度化に係る対応、また、ものづくり人材の育成について、市の考えを伺います。

答 今後の成長分野として、防衛産業については、特殊塗装の企業や艦船のエンジンの修繕を行う企業が市内へ移転する動きなどが見られ、また、海事産業については、海運会社において風力と水素を利用した脱炭素船のプロジェクトを、この秋からハウステンボスを

拠点に進められる予定であり、このような新エネルギー分野などへの展開も期待されています。こうした事業展開を支えるには、企業の高い技術力が重要であり、本市として創造的技術開発支援事業において、新製品や新技術への技術開発の取組の支援を行うなど、企業の技術向上を後押ししています。また、ものづくり産業の成長発展のためには、培われた熟練技術の高い技術力を若い技術者へとつなぐ技術の継承や、ものづくりを志す次世代人材の確保は大変重要であると認識しており、議員から提案の、団塊世代の技術者の方々のアドバイスや指導が受けられるような仕組みづくりを、工業会関係者の皆様と協議していきます。

特別養護老人ホーム等の建て替え補助金の在り方について

自民党市民会議 はしのくち ゆうた 橋之口 裕太 [40分]

問 特別養護老人ホーム等の高齢者施設の建て替えに対する補助金は、平成28年に中核市へ移行したことに伴い、長崎県から事務移譲を受け制定されたもので、平成20年に県が補助金交付要綱を定めた際の補助単価は現在まで変わっていません。一方、公共工事設計労務単価の全国平均は、平成20年から令和3年にかけて7,058円上昇するなど、人件費と合わせ、資材費など建設コストが高騰しています。

本市においても継続した介護サービスが提供できるよう、現状に即した補助単価へ早急に見直すべきではないですか。

答 佐世保市の65歳以上の高齢者数は、令和2年10月

1日現在で78,386人、高齢化率は30%を超えています。介護度が高く、家庭において適切な介護を受けることが困難な方が入所する特別養護老人ホームのニーズは高いため、現在の定員数の確保は必要であり、介護サービスの質の向上に努めていく必要があります。そのため、老朽化した施設の改築やユニット化への改修については、引き続き推進していく必要があると考えており、指摘のとおり、建築に係る費用は上昇していることから、工事費用を基にしている補助金の額や補助メニューについて、長崎県や他都市の状況も見ながら研究していきます。

その他の質問 ▼チーム学校の構築について

放課後児童クラブについて

日本共産党 おだ のりあき 小田 徳顕 [20分]

問 放課後児童クラブについては、地域の理解が得られないなどの理由で、従来からの運営が難しくなる場面も想定されます。児童の安全・安心やクラブの安定的な運営等の面を考慮すると、余裕教室を含む学校施設の活用を促進していく必要があると思いますが、子ども未来政策を推進する観点及び教育委員会との連携の観点から、市の所見を伺います。

答 放課後児童クラブ事業については、「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの時期に当たる、令和4年度までをめぐり、改めて、事業展開に係る方向性を含めた検討を行い、一定の整理を図っていくこととしており、今年度、放課後児童クラブに係

るニーズ調査を実施し、詳細な実態把握及び今後の見通しなどの分析を行います。そして、学校再編をはじめ、公共施設の適正配置・再編による資産の有効活用といった関連する取組を通じ、教育委員会等の関係部署とより実働的な連携を図りつつ、係る方策の整理につなげていくための検討を深めていきます。

放課後児童クラブは、全ての児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるといった観点からも重要な取組と考えていますので、子ども未来部と教育委員会が連携を図りつつ、放課後児童クラブを取り巻く環境の変化等にも注視しながら対応していきます。

その他の質問 ▼石木ダム建設事業について

アフターコロナを見据えた俵ヶ浦半島開発の検討状況について

市民クラブ しばやま けんいち 柴山 賢一 [30分]

問 俵ヶ浦半島開発ひいては九十九地区活性化のために、九十九島観光公園の本格的活用への地域住民の方の関心は、非常に高いと感じています。動植物園の老朽化も待ったなしの状況ですので、アフターコロナにおける当該地域及び本市経済の活性化の視点を持ち、動植物園移転検討を含む観光公園の本格的活用策に係る議論を早期に進めるべきです。そこで、今後の俵ヶ浦半島開発全体の進捗に当たって、九十九地区自治協議会からの要望を踏まえた市長の考えを伺います。

答 観光公園から見る絶景はまさに「美しい」と誰もが認めるところですので、今後の活用においては、観光発展の三つの要素のうち、残る「楽しい・おいしい」

を加えていくことになると考えています。九十九地区自治協議会から提案のあった「観光公園に地産地消型の飲食店をはじめ、宿泊施設や温泉施設を」といった方向性は、その点十分理解できるものと考えています。民間事業者のアイデアや資金力等を導入しながら、半島振興をさらに推し進めていくことができると考えていますが、開発全体を推進するために、まずは、動植物園移転検討を含む観光公園の本格的な活用策の早期取りまとめが重要です。そのため、今年度から副市長をトップとした、分野横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、地域からの提案の実現性も含め、さらにスピード感を持って検討していきます。

災害時に必要とされる避難所の在り方とペットを
同伴できる避難所の運用方針について

自民党市民会議

はぎわら
萩原

ひろし
活

【40分】

問 災害時の避難所の重要性が見直される中、ペットを同行できる避難所が注目されています。本市でも、「広報させば」6月号で、ペットと同行避難ができる避難所の指定について発表されていますが、ペット同行避難所の選定の経緯や場所の選定基準及び運用方針は、どのようになっているのですか。

答 昨年9月定例会での一般質問に対し、避難所におけるペット飼育のルールづくりを研究し、ペットを同行できる避難所の設置に取り組む旨答弁し、また、昨年10月に長崎県が主催した会議において、県内各自治体に対し、災害時に飼い主の責任でペットと同行避難できる場所の確保の要請があり、設置する方向で検討

に着手しました。場所の選定については、避難者とできるだけ動線が交わらない飼育スペースが確保できること、ペットの鳴き声や臭いが、避難スペースにできるだけ届かない屋内のスペースが確保できること、などの要件等を考慮し選定しました。飼い主に対しては、日常から、しつけなどペットの防災対策に対する備えをお願いするとともに、避難所内では、飼い主自身が自覚と責任を持ち、普段以上に周囲への配慮に努め、飼育管理を行っていただくなど、災害時に人とペットが安心して避難できる環境づくりに努めていきます。

その他の質問 ▼佐世保市が管理する都市公園、自然公園における林野火災対応について

官民連携での「まちづくり」について

自民党市民会議

つる
鶴

だいち
大地

【40分】

問 市民一人一人が、佐世保市をよりよい場所にするために、自分自身が関わっている、自分自身が本市の未来をつくっているという意識（シビックプライド）を抱くことは、「まちづくり」にとって必要不可欠だと思います。「シビックプライドが整ったまち」、つまり、本市における「シビックプライドが醸成した理想の姿」とはどのようなものか、市長の考えを伺います。

答 「シビックプライド」とは、一人一人が自ら住む「まち」のよさに気づき、より好きになり、その上で、地域（まち）をよくしていこうという気概と誇りであると思います。また、「シビックプライドが整ったまち」とは、「住むまちに対する熱い愛情を持って、互

いに共感し合いながら、させばの「未来」を語り合う市民が、それぞれの立場でまちづくりに参加する・できるまち」であると思います。私は、市民の皆様方に、この「まち」の「未来」をぜひ語り合ってもらいたいと思っていますし、この「まち」の「未来」を語る場合、何より重要なのは、させばの将来を担う若い方々に、積極的に関わってもらうことだと思っています。

佐世保市長である私の使命として、「いま」と「未来」の市民の皆様に対して、しっかりとビジョンを示し、共有化した中で、共に魅力あふれるまちづくりを目指していききたいと考えています。

その他の質問 ▼ドローンの活用について

花高三丁目14号線について

自民党市民会議

くほ
久保

ふさと
葉人

【40分】

問 現在、花高三丁目において宅地開発事業が進められており、開発区域内に花高三丁目14号線を整備する計画と聞いています。これにより開発区域内外からの通過交通の流入による交通事故の発生、また、開発区域から流れ出る雨水等による生活環境の悪化が懸念されますが、諸問題についての本市の対応策を伺います。

答 新設する花高三丁目14号線の交通事故対策として、既存市道との各交差点に指導停止線と交差点マークを、必要に応じてカーブミラーを設置します。また、歩行者の安全対策としては、公安委員会と花高循環線側交差点部への横断歩道設置も含めた協議を進めるとともに、当該道路に接する宅地については、歩車道分離に

より全て反対側の道路から乗り入れする計画とすることにより、さらなる安全性の向上を図っていきます。開発区域からの雨水排水については、開発地内の各宅地に可能な範囲で雨水浸透施設を設置する計画であり、開発行為指導要綱により、採用する時間125mmの降雨強度の雨水が、道路側溝の有効断面の8割以内で流れるよう排水能力の高い道路側溝を整備予定です。また、桑木場踏切拡幅は、費用面や安全面において現実的ではないものの、新設道路の供用開始後の状況を踏まえ事業の存続について判断していきます。

その他の質問 ▼早岐川水系流域治水プロジェクトについて

農業用ため池の保全管理の強化と農地
災害復旧事業の個人負担金について

自民党市民会議

はやし
林

けんじ
健二

【40分】

問 農地災害復旧事業の個人負担金について、平成30年12月定例会の一般質問で、「同年に、通常災害に加えて激甚災害が発生した場合は、激甚災害における個人負担率に統一するなど、被災農家の農地維持につながる営農支援としての制度改正」を提案しました。激甚災害が当たり前のよう発生する現状を踏まえると、より一層、被災農家の気持ちに寄り添い、早急に制度改正を実施することができないのか改めて伺います。

答 本市において、通常災害の場合は、農地災害復旧事業の工事精算額に対し、5%の個人負担金を徴収していますが、激甚災害の指定を受け国からの補助率が90%を超える場合は、補助残額の2分の1とするなど

負担軽減に努めています。指摘のように、被災者への負担感が大きく、激甚災害とそれ以外での負担差があることに不公平感を抱かれることは認識していますが、現在は、国の激甚災害に対処する特別の財政援助の考え方に準じた運用をしているところです。しかし、より一層、被災農業従事者の方の気持ちに寄り添った制度に近づけることで、そのことが就農者のやる気の高まりや負担感の重みからの離農を防ぐことにつながり、就農人口の減少を抑制する一助となると考えますので、令和4年度に向け、改めて精査研究に取り組んでいきます。

その他の質問 ▼佐世保市の水資源確保について

町内会が管理する防犯灯の維持に係る公的関与について

自民党市民会議

まつお 松尾 ひろゆき 裕幸

[40分]

問 街路灯は市が設置・管理をしているのに対して、防犯灯は、町内会が設置・管理し、電気料金を負担しています。市は電気料金の補助を行ってはいませんが、現在は町内会が料金を支払った後、領収書を添付して申請を行う必要があるなど、申請手続が煩雑なため、市が直接九州電力へ料金を支払うことはできませんか。

また、市の補助金を活用してLED防犯灯へ取替えを行ってから10年近くになり、交換時期が近づいていますが、交換には町内会と市ともに多大な労力が必要となるため、交換等に係る手続を適切に集約するなど、手法を検討すべきではないですか。

答 防犯灯の所有者は町内会であるため、市は支援を

行うという位置づけで町内会に補助金を支給していますが、町内会では、補助申請に係る事務に加え、口座の管理や領収書の保管など、多くの負担が生じており、市においても約550件の補助金の受付事務が生じています。このため、市が九州電力へ直接支払うことで事務量の削減が図れますが、事業の位置づけ上難しい点があるため、他都市の事例等を参考に研究を進めます。

また、LED防犯灯交換時の支援の検討については、これまでの事務の手法を大きく見直す機会と捉え、町内会と市の双方にとって有益な手法となるよう、新たな発想で取り組んでいきます。

その他の質問 ▼基地との共存共生について

防災行政無線の戸別受信機に関する運用について

歩みの会

みやた 宮田 きょうこ 京子

[20分]

問 本市では、防災行政無線の戸別受信機を、希望される全世帯に無償で貸与する計画が進められています。戸別受信機を貸与された高齢者が、使いこなせていない事例もあり、市として、戸別受信機の使用実態や今後の確認手段をどのように考えていますか。

また、地域限定放送について、旧町で従前から行われていた放送を、新しい280メガヘルツ無線を導入後も、継続して行うことが可能となっていますが、この新しい無線機能を生かしながら、どのように、よりよい運用を行っていくのか伺います。

答 戸別受信機の使用者の要望に応じて、自宅訪問を行い、丁寧に対応し配備を進めながら、各町内会から

使用状況について情報提供をいただくなど、使用実態については一定把握しています。しかし、十分に行き届いていない部分もあるため、引き続き各地域と情報共有を図りながら、実態把握に努め、地域防災力の向上につなげていきたいと考えています。

また、地域限定放送は、280メガヘルツ無線システムの地域情報を配信する機能を活用して実施することとなりますので、無線の管理運用規程に基づいた管理を行い、災害時の放送や、市民生活に支障を及ぼさないよう十分配慮した放送であることなど、その必要性を確認した上で、防災力の向上や市民生活を踏まえながら、適正な運用を行っていききたいと考えています。

佐世保市の想像力について

自民党市民会議

すみだ りゅういちろう 角田 隆一郎

[40分]

問 佐世保市は市民の安全、安心、明るい未来のために想像力を発揮すべきです。まず、職員のモチベーションを向上させるための努力と工夫、市民のために市における新型コロナウイルス感染症の発生以来陽性者の人口比0.3%、死者数0.007%、回復率90%前後であることを踏まえ、子どもの健康に疑問があるマスクの着用の在り方、一部感染経路確認をもって、全ての飲食店が悪とする会食自粛要請の在り方、ワクチン接種の在り方、これら全てに対する同調圧力を防ぐため、正しい情報収集と発信のための想像力と必要性について伺います。

答 市職員の想像力については、研修などを実施しな

がら市民サービスのさらなる向上につなげるよう意を用いて取り組みます。また、子どものマスクの着用については、特に小中学生へのマスクの着用は適正に使用することで十分効果があると考えていますので、今後も引き続き着用をお願いしていきます。さらに、御事情などでマスクを着用できない、あるいはワクチンを打てない方々が心ない誹謗中傷や同調圧力をかけられることがないよう市としても周知啓発に努めていきます。行政として正しい情報収集や発信を心がけ、想像力を発揮することも大事ではありますが、コロナに関しては、国の指針をしっかり進めていくことも行政の役割であると認識しておりますので理解願います。

佐世保市議会ホームページをご覧ください

佐世保市議会ホームページには、議会のしくみ・定例会の日程・一般質問の内容・市議会だより・会議録など議会に関する様々な情報を掲載しています。

また、本会議をより多くの皆様にご覧いただくため、インターネット中継を実施していますので、ホームページから佐世保市議会本会議を視聴できます。生中継のほかに録画映像もご覧になれます。

(スマートフォンなどでは、右下のQRコードからもアクセスできます)

佐世保市議会ホームページ

<https://www.city.sasebo.lg.jp/gikai/gikai/index.html>

スマホ・タブレット用
QRコード



※本会議の視聴はページ中段「インターネット中継」のアイコン



から

政務活動費

令和2年度 政務活動費収支報告一覧

議員の市政に関する調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5万円を政務活動費として会派に交付しています。

令和2年度分について、収支報告書（領収書等の関係書類含む）が議長に提出されましたので、その収支及び内訳について以下のとおりお知らせします。

（単位：円）

		政務活動費総額	自民党市民会議	市民クラブ	公明党
交 付 額		19,200,000	11,400,000	4,200,000	2,400,000
支 出 額		12,153,851	6,612,476	3,489,240	1,360,874
支 出 内 訳	調 査 研 究 費	1,933,440	1,444,720	488,720	0
	研 修 費	347,190	347,190	0	0
	広 報 費	4,897,863	2,662,520	1,460,214	570,387
	広 聴 費	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0
	資 料 作 成 費	0	0	0	0
	資 料 購 入 費	454,411	158,406	178,693	49,200
	人 件 費	0	0	0	0
	事 務 費	4,520,947	1,999,640	1,361,613	741,287
残 額（返 還 額）		7,046,149	4,787,524	710,760	1,039,126

		日本共産党	歩みの会
交 付 額		600,000	600,000
支 出 額		339,452	351,809
支 出 内 訳	調 査 研 究 費	0	0
	研 修 費	0	0
	広 報 費	21,838	182,904
	広 聴 費	0	0
	要請・陳情活動費	0	0
	会 議 費	0	0
	資 料 作 成 費	0	0
	資 料 購 入 費	68,112	0
	人 件 費	0	0
	事 務 費	249,502	168,905
残 額（返 還 額）		260,548	248,191

政務活動費について

政務活動費は、「佐世保市議会政務活動費の交付に関する条例」により、用途が指定されています。

例えば、「調査研究費」は「会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費」として、研修会への出席費用や交通費等に支出されるものです。

収支報告書の関係書類である領収書等についても個人情報等を除き、原則全て公開しており、どなたでも閲覧が可能です。また、佐世保市議会ホームページにも掲載※しております。

※ページ下段の一番右の欄「議会からのお知らせ」の中の「政務活動費収支報告」をご覧ください。

議会の活動

※3月定例会の終了後、6月定例会開会までの常任委員会等の活動を掲載しています。

▼3月

- 15日 総務委員会協議会〔令和4年度国・県への要望事項について/指定管理者選定委員会選定方法改善の検討について/その他〕
都市整備委員会協議会〔令和4年度国・県への要望事項について/鯨瀬フェリー桟橋接触事故に係る報告について/その他〕
文教厚生委員会協議会〔令和4年度国・県への要望事項について/公益財団法人佐世保市体育協会の名称変更について/その他〕
企業経済委員会協議会〔令和4年度国・県への要望事項について/大塔町配水管破裂事故報告の件について/その他〕
- 17日 文教厚生委員会協議会〔福井洞窟ミュージアム現地視察/動物愛護センター現地視察〕
- 19日 基地対策特別委員会〔令和4年度国・県への要望事項について/令和3年度政府予算案について/基地対策特別委員会による令和3年度実施要望活動について〕
石木ダム建設促進特別委員会〔令和4年度国・県への要望事項について/石木ダム建設事業の進捗状況について〕
特定複合観光施設(I R)推進特別委員会〔令和4年度国・県への要望事項について/その他〕
交通体系整備特別委員会〔令和4年度国・県への要望事項について/東彼杵道路の計画段階評価について/その他〕

▼4月

- 20日 議会運営委員会〔国・県要望活動の日程について/クールビズの実施について/臨時会の招集請求について/その他〕
- 30日 議会運営委員会〔市議会だより臨時号の発行について/議員の個人情報とその公表の在り方について/6月定例会の日程(案)について〕

▼5月

- 10日 議会運営委員会〔議員の個人情報とその公表の在り方について/本庁舎リニューアル工事における3階及び4階フロアの改修について/選考委員会の任務について〕
- 19日 交通体系整備特別委員会〔西九州自動車道松浦佐々道路のインターチェンジ名称について〕
- 20日 議会運営委員会〔議会役職人事等決定後の変更について〕
- 21日 議会運営委員会〔会派の届出について/議席について/会派室について/議会役職人事等決定後の変更について〕
基地対策特別委員会〔5月臨時会の結果の報告について〕
- 27日 議会運営委員会〔元年期前期議会運営委員会の申し送り事項について/議会運営委員会申合せ事項について/長崎県後期高齢者医療広域連合議会の議会運営委員会委員の推薦について/6月定例会の日程(案)について/議席について/その他〕
- 28日 特定複合観光施設(I R)推進特別委員会〔I R誘致に係る下水道の整備について/その他〕

▼6月

- 7日 議会運営委員会〔6月定例会の付議事件並びに会期日程等について/その他〕

陳 情

6月定例会には、陳情3件が提出され、議会運営委員会にて取扱いを協議の上、所管の委員会に送付しました。

【企業経済委員会・石木ダム建設促進特別委員会に送付】

- ・「石木ダム建設より、南部水系下ノ原ダムかさ上げ3.5mが、10分の1の安い費用で、単独事業が、可能であること」を陳情します。

【企業経済委員会に送付】

- ・公共施設等のトイレ用水に雨水等の利用を義務付け、節水を推進する条例の制定についての陳情
- ・雨水タンク設置の助成制度の実施についての陳情

人事案件

6月定例会では、人事に関する案件2件が提出され、議会としては同意しました。

○佐世保市教育長任命の件

西本 眞也 氏

○佐世保市固定資産評価員選任の件

吉田 弘幸 氏

請願・陳情についてのお知らせ

令和3年9月定例会で取り扱う請願・陳情の提出期限は、8月26日(木)午後5時15分までを予定しています。
提出予定の方は、お早めに議会事務局にお問い合わせください。

編集と発行

佐世保市議会事務局議会運営課議事調査係 〒857-8585 佐世保市八幡町1番10号
TEL: 0956(24)1111(代表) 内線2305~2309 FAX: 0956(25)9674
<https://www.city.sasebo.lg.jp/gikai/gikai/index.html>

9月定例会の開会は、9月初旬の予定です